

京田辺市旧草内村調査

奥谷慎也

1. はじめに

2018年度、歴史地理学ゼミでは、京田辺市の市史編さん事業の一環として同市の調査をおこなった。本調査の対象地域は京田辺市内でも特に旧草内村にあたる草内、飯岡、東の3地区であり、2回にわたって調査した。第1回調査では、上記3地区における農業と水利の変遷について話を聞いた。また、聞き取りと並行して同区の水利を踏査し、記録した。第2回調査では、特に飯岡区での茶園のテロワールについて話を聞いた。以下はその詳細である。

2. 第1回調査概要

調査日：2018（平成30）年8月20日・21日

調査者：上杉和央（教員）

小川大地・竹内祥一郎（博士前期課程1回生） 奥谷慎也・菊川歩夢・田村友希（3回生）

第1回の調査は8月20日の午前から開始し、はじめに草内区の水系調査と、上村氏への聞き取り調査をおこなった。午後からは、上杉・田村班、小川・菊川班、竹内・奥谷班の3つに分かれて踏査した。上杉班は草内区において、奥西氏・山岡氏から生業にかかわる水の利用について聞き取った。また、小川班は東区、竹内班は草内区と飯岡区の水系調査をそれぞれおこなった。

21日午前、上杉班と竹内班が合流し、飯岡区で内藤氏・出島氏から区内の水利や土質について聞き取った(写真1)。小川班は前日に引き続いて東区の水系調査をおこなった(写真2)。午後からは、上杉・小川・菊川の3名が東区で上村氏・松村氏から生業における水の利用および水利の変遷について聞き取った。竹内班は前日と同様に草内区と飯岡区の水系調査をおこなった。田村は別途で調査をおこなっていた建築史ゼミの学生と合流し、小川班の調査を引き継いで東区の水系を調査した。

3. 第2回調査概要

調査日：2018年11月28日

調査者：上杉和央、小川大地、伊藤美梨子・奥谷慎也・田村友希

第2回の調査は、建築史ゼミと合同でおこなった。11月28日午後から調査を開始し、特に飯岡区について調査した。その中で、第1回の調査でも話を聞いた出島氏に所有する茶園を案内してもらい、土質や傾斜といった茶園内の微細な違いと、それに伴う茶の出来不出来について聞き取った。

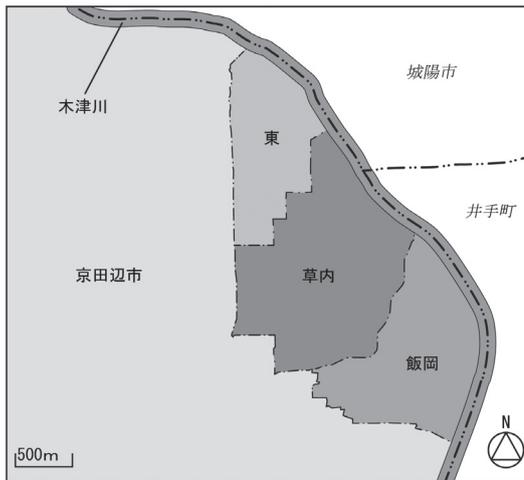


図1 調査地域の位置関係
(地理院地図より作成)



写真1 草内区の稲田と水路
2018年8月20日 竹内祥一郎撮影



写真2 飯岡区での聞き取り調査
2018年8月21日 竹内祥一郎撮影



写真3 東区での水系調査
2018年8月21日 菊川歩夢撮影



写真4 飯岡区での茶畑調査
2018年11月28日 田村友希撮影



写真5 飯岡の茶畑景観
2018年11月28日 小川大地撮影